

番組審議委員会 議事録

開催日 2024年11月10日 19時30分より 20時30分

出席者 小椋副委員長 白井、角野、渡辺、織田委員 欠席岡田委員長 田淵委員
局側 藤田局長 村田理事

場 所：アリコペールしんぞ研修室

議 事

① 副委員長挨拶

暖かい冬となっております。心配な情報もありますが、力を合わせて審議委員会から活動の指針となる審議を行ってゆきましょう。

② エフエムつやま近況・活動報告（令和5年の活動） 村田理事長 藤田放送局長

・年未年始の定例行事を行った。（14年目の周年記念放送を各番組でPR、年未年始特別放送実施）

新年の企業PRCMを募集して1月17日まで放送実施で企業PRとエフエムつやまで初めての新年CMを行った。（14回 7,000）

ネットラジオの活用が不十分（TUNE IN Ridio）聴けない事の解決が必要

・放送局からの運営報告・番組：取り組みなど紹介 藤田放送局長

22年から実施しているつやま魂カンパニーが企業様のご支援を受けて番組的にも経営的にも成果を出している。この繋がりを新年企業紹介CMなど企画して新たな取り組みとして成果を出したい。

パーソナリティー会と連携して事務支援などと情報番組要員の確保など人材確保の取り組みも進めている。

③ 活動報告に関してのご質問

質問1、番組が減っていると聞く原因は？ 角野委員

CMなど営業しにくくなると思うが

回 答：過去から番組の有料化への取り組み（経営面課題解決）を進める中で費用払って続けたくないと降番が起こっている。

対 応：設立時点は無料で放送をしていただき、番組を放送することを続けていた。経営を考え有料化が不可欠になりルール変更時点で減少した。放送料をポイント制など事務支援で対応できる仕組みなど取り組んだが持続しなかった。

基本放送するのは有料とします。

質問2、つやま魂カンパニーの課題解決は考えているのか、下記の課題！！

・企業の特徴を対談で引きだせていない、 白井委員

進行・司会が同じ人で変化がない（特徴を出す）

・費用対効果は把握しているのか 角野委員

・再放送の価格だては 織田委員

回 答：22年度開始時点での価格だてが安価で進めた為赤字である（当初番組の継続が出来るか解らず低い価格だてで進めたのが問題）

対 応：現行では人材が不足しており対応不可、今後人材を増やす取り組みを行います。

組織作り業務分担などR6年に向けて検討する

つやま魂カンパニーにも再放送含め企業が期待できる構成、価格だても検討してゆきます。

質問3、図書館での講演会他市内でも多くの団体が活動、講演式典など行っているそれらを放送できないのか？

白井委員 渡部委員

回答：放送可能な企画も多いため情報入手のため仕事のやり方を工夫する。情報入手しても団体の行事を録音できる人材が不足している、要員確保が課題である。

対応：行事の実施している団体への放送の了解も必要、局内の体制を変更して団体PRをする中で放送させていただけるよう取り組みを進める。

質問4、視聴率を上げる行動が必要

プロスポーツ（トライフープ）ので放送できないのか

白井委員

ラジオを企業が仕事につけている拡大の方法は

角野委員

視聴エリアもっとPR必要 QRコードの活用

織田委員

回答：プロスポーツの放送は放送ランセンスが必要かも、調査して結果だけでも告知する。ラジオの業務内試聴はつやま魂カンパニーでPRする。資料エリアのPRは番組表の発行時に実施したい。

対応：対応には営業活動と局員の業務分担が必要で人材の確保が課題です。人材の補強をラジオ放送で募集する。番組の改変をR6年4月から行いPRしてゆく。番組表発行も活用する。

④ 番組視聴からのご指導

質問1：つやま魂カンパニーCMではオーナーの声で制作されている。良いことだが

・クオリティが低い、NGワードなど入っているが、音源制作時濁音を外す必要あり聞きにくい

白井委員

・住所告知しているがCM一回聞いただけでは覚えられない

織田委員

・内容が不明確、構成を見直して音源背制作しているのか

渡部委員

回答：音源録音企業にお任せになっている、制作過程でよく話し合い支援必要と思いますよく企業とすり合わせして制作します。

対応：つやま魂カンパニーの企画自体を見直すとともに企業の協力を得て効果の出る企画に改善してゆきます。初めての放送づくりはむつかしいですが練習して制作いただきます。

以上